

## 目 次

I . 総括研究報告	
遺伝子診断に基づく不整脈疾患群の病態解明および診断基準・重症度分類・ガイドライン作成に関する研究	1
堀江 稔	
II . 分担研究報告	
1. ブルガダ症候群と早期再分極症候群の類似点と相違点に関する研究	0
清水 渉	
2. 日本の大規模登録研究におけるBrugada症候群のリスク層別化と長期予後に関する研究	0
青沼和隆	
3. 遺伝子診断に基づく不整脈疾患群の病態解明および診断基準・重症度分類・ガイドライン作成に関する研究	80
蒔田直昌	
4. 遺伝子診断に基づく不整脈疾患群の病態解明および診断基準・重症度分類・ガイドライン作成に関する研究	100
住友直方	
5. 早期再分極症候群における不良な予後の予知指標に関する研究に関する研究	30
鎌倉史郎	
6. 遺伝子診断に基づく不整脈疾患群の病態解明および診断基準・重症度分類・ガイドライン作成に関する研究	30
萩原誠久	
7. 遺伝子診断された先天性QT延長症候群7型（Andersen-Tawil症候群）の心電図解析～独立成分分析と主成分分析を用いたU波の解析～に関する研究	30
堀米仁志、石川康宏	
8. 遺伝子診断に基づく不整脈疾患群の病態解明および診断基準・重症度分類・ガイドライン作成に関する研究	30
福田恵一、湯浅慎介、相澤義泰	
9. HRS/EHRA/APHR Expert Consensus Statement基準に基づいた小児期QT延長症候群の頻度に関する研究	30
吉永正夫、九町木綿、西畠 信、緒方裕光、野村裕一	
10. LMNA関連心筋症における性差、変異部位の検討に関する研究	30
牧山 武	
11. 遺伝子診断に基づく不整脈疾患群の病態解明および診断基準・重症度分類・ガイドライン作成に関する研究	30
渡部 裕	
12. 発熱を契機にQT延長、Torsades de pointesを発症したType2 QT延長症候群の発症メカニズムに関する研究	30
林 研至	
13. 全エクソーム解析による先天性QT延長症候群患者の新規候補遺伝子の同定に関する研究	30
相庭武司	
14. 遺伝性不整脈の遺伝子検査に関する研究	30
宮本恵宏、太田直孝、藤山啓美、増田弘明	
15. 遺伝子診断に基づく不整脈疾患群の病態解明および診断基準・重症度分類・ガイドライン作成に関する研究	30
白石 公、宮崎 文	
III . 研究成果の刊行に関する一覧表	140
IV . 研究成果の刊行物・別刷	150

